



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東
コード番号 9341 URL <https://genova.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 武田 幸治 TEL 03 (5766) 1820
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及び個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,906	—	446	—	446	—	288	—
2023年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 290百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	16.35	16.20
2023年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2023年3月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2024年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,456	4,403	79.6
2023年3月期	5,414	4,046	74.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,343百万円 2023年3月期 4,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,921	34.5	848	21.9	847	21.2	578	32.0	32.88
通期	8,482	30.2	2,207	27.3	2,206	28.7	1,505	19.4	85.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	17,726,100株	2023年3月期	17,598,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	38株	2023年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	17,663,521株	2023年3月期1Q	ー株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年8月10日（木）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第1四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和に伴い感染症の部類も5類感染症へ移行し、インバウンドを含む国内外の人流もコロナ前水準に徐々に回復の予兆を示し、穏やかな経済活動の持ち直しの兆候が見受けられました。

しかしながら、ウクライナ情勢を含む地政学的な緊張感が続いていることに加え、エネルギー価格や原材料価格の高騰から消費者物価指数の上昇などもあり、我が国の景気の先行きへの影響には注意が必要な状況にあります。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、メディカルプラットフォーム事業の主力事業である「Medical DOC」については顧客事業所数が引き続き順調に推移したことに加え、スマートクリニック事業の「NOMOCaシリーズ」「CLINIC BOT」についても共に顧客事業所数が伸長しております。

また、人員の採用は前年と同様に強化傾向にあり、教育・育成への積極投資を継続実施しつつ、当社グループの主力事業を補強する、または、新事業を創出に向けた事業提携も積極的に検討を進めてまいりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

①メディカルプラットフォーム事業

メディカルプラットフォーム事業では、医療メディアであるMedical DOCを中心に、医療機関と患者様への適切な医療情報のマッチングを実現しております。当第1四半期連結累計期間に、医療情報に特化した新たなAIチャットボットである「Medical DOC AI chatbot」の開発状況を公開いたしました。当AIチャットボットはユーザーが調べたい体の症状や病気を質問・相談するとチャット形式で対話ができるAIを通してMedical DOCに掲載されている医療記事やクリニック情報から適切な医療情報を得られる新しいFAQサービスになります。超高齢化社会を迎えた現代の日本において健康寿命増進という社会課題を解決すべく、利用者の皆様により一層適切な情報へアクセスいただくことを目的としております。

また、医療メディアである「Medical DOC」においては、当第1四半期連結累計期間に初めて1,000万超の月間PV数を獲得し、継続して上昇傾向にあります。

利用者の増加を背景に顧客事業所数が伸長したことにより増収となり、当第1四半期連結累計期間の契約件数は976件となりました。

この結果、セグメント売上高は1,328,324千円、セグメント利益は711,811千円となりました。

②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業では、主に、クリニックの業務効率化を進め、将来的に「受付0」、「待ち時間0」、「現金0」の運営をできるよう、自動受付精算機とセルフ精算レジを展開しております。新たな取り組みとしてDXの強化の一環で「NOMOCa AI chat」をリリースいたしました。当サービスはクリニックの受付業務の1つである「電話業務」にかかる時間やコストを削減し、医療DX化により、ヒトからAIへタスクシフトすることでスタッフの余裕ある時間を生み出し、更には患者様の利便性を向上することを目的としている取り組みになります。

このような新たな商材も含め、医療機関の事務業務量の課題を解決しつつ、「多くの待ち時間と短い診察時間」という不満を医療DXの推進を通じて解決することを引き続き目指します。

新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、営業活動が活発になりスマート簡易自動精算機/再来受付機及び、CLINIC BOTを中心に顧客への導入が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の契約件数は189件となりました。

この結果、セグメント売上高は452,070千円、セグメント利益は60,585千円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,906,618千円となり、営業利益は446,154千円、経常利益は446,472千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は288,884千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ41,911千円増加し、5,456,834千円となりました。これは主に売掛金が74,037千円増加したこと、繰延税金資産が18,608千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ314,416千円減少し、1,053,633千円となりました。これは主に買掛金が64,395千円減少したこと、未払法人税等が156,936千円減少したこと、賞与引当金が39,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ356,327千円増加し、4,403,201千円となりました。これは主に新株予約権の行使により資本金が8,000千円、資本剰余金が8,000千円増加したことや、新株予約権が50,081千円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益288,884千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,860,506	3,783,449
売掛金	995,318	1,069,355
その他	142,682	117,884
貸倒引当金	△23,646	△29,736
流動資産合計	4,974,860	4,940,953
固定資産		
有形固定資産	152,847	167,119
無形固定資産	4,916	4,443
投資その他の資産		
繰延税金資産	68,489	49,880
その他	213,810	294,437
投資その他の資産合計	282,299	344,318
固定資産合計	440,063	515,881
資産合計	5,414,923	5,456,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	159,551	95,155
1年内返済予定の長期借入金	19,128	17,598
契約負債	249,119	255,732
未払法人税等	307,129	150,193
賞与引当金	45,000	6,000
その他	554,777	500,008
流動負債合計	1,334,706	1,024,688
固定負債		
長期借入金	6,941	2,774
その他	26,401	26,170
固定負債合計	33,342	28,944
負債合計	1,368,049	1,053,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,991	768,991
資本剰余金	660,991	668,991
利益剰余金	2,614,710	2,903,594
自己株式	-	△81
株主資本合計	4,036,693	4,341,496
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,687	1,878
その他の包括利益累計額合計	1,687	1,878
新株予約権	-	50,081
非支配株主持分	8,492	9,744
純資産合計	4,046,873	4,403,201
負債純資産合計	5,414,923	5,456,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,906,618
売上原価	448,590
売上総利益	1,458,027
販売費及び一般管理費	1,011,873
営業利益	446,154
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	7
受取手数料	384
営業外収益合計	392
営業外費用	
支払利息	73
営業外費用合計	73
経常利益	446,472
税金等調整前四半期純利益	446,472
法人税、住民税及び事業税	137,727
法人税等調整額	18,608
法人税等合計	156,335
四半期純利益	290,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	288,884

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	290,136
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	190
その他の包括利益合計	190
四半期包括利益	290,327
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	289,075
非支配株主に係る四半期包括利益	1,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,328,324	452,070	1,780,395	126,222	1,906,618	—	1,906,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,328,324	452,070	1,780,395	126,222	1,906,618	—	1,906,618
セグメント利益	711,811	60,585	772,396	30,881	803,277	△357,123	446,154

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△357,123千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラ ットフォーム事業	スマートクリ ニック事業	計		
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	1,303,960	346,358	1,650,318	47,888	1,698,206
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	24,364	105,712	130,077	78,334	208,411
顧客との契約か ら生じる収益	1,328,324	452,070	1,780,395	126,222	1,906,618
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,328,324	452,070	1,780,395	126,222	1,906,618

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。